

II 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成 30 年の島根県の観光入込客延べ数は 31,133 千人であり、前年と比べると、1,170 千人（-3.6%）減少した。

〈観光入込客延べ数〉

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	31,133	6,674	24,459
構成比	100.0%	21.4%	78.6%
対前年増減	-3.6%	-6.5%	-2.8%

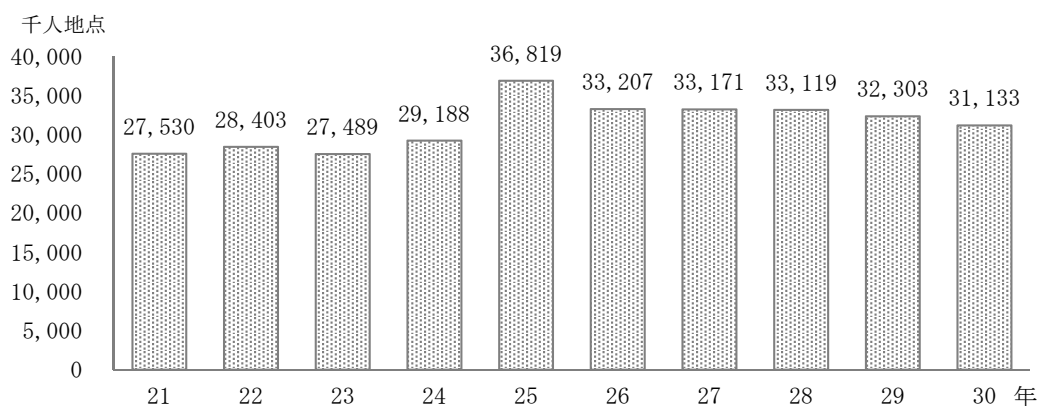
注）県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

注）本調査結果での率の合計については、端数処理のため 100%にならない場合がある。

【主な変動要因】

- ①島根県西部地震（4月）、西日本豪雨災害（7月）等、相次ぐ自然災害の影響
- ②「しまねの魅力・安心発信事業（7月専決予算）」や「13 府県ふっこう周遊割」による集客

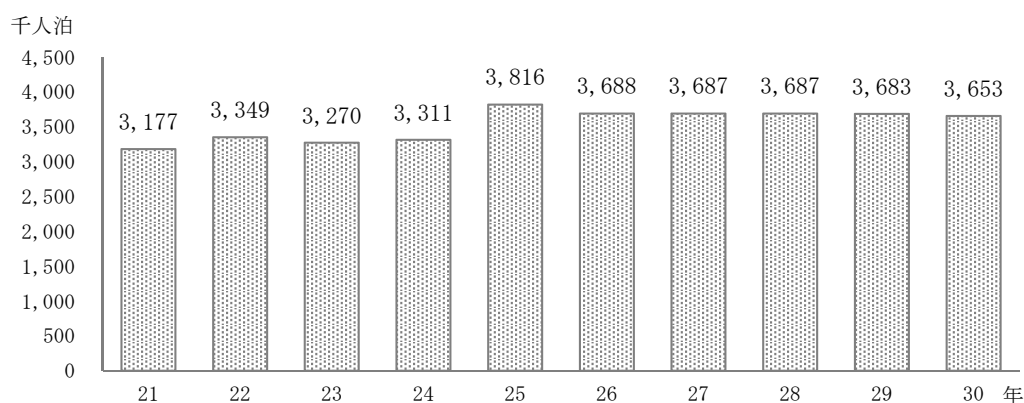
〈観光入込客延べ数の推移〉



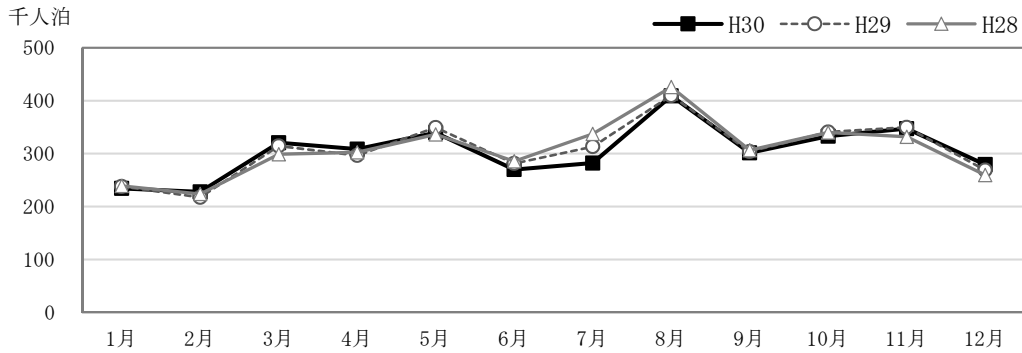
2. 宿泊客延べ数

平成 30 年の県内宿泊施設の宿泊客延べ数は、3,653 千人であり、前年と比べると、30.7 千人（-0.8%）減少した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



〈月別宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅 館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ 場	合 計
宿泊施設数	245	95	2	38	35	415
宿泊客延べ数 (人泊)	3, 231, 206	96, 295	64, 509	130, 539	130, 086	3, 652, 635
構 成 比	88.5%	2.6%	1.8%	3.6%	3.6%	100.0%
対 前 年 増 減	-0.3%	+2.4%	-2.6%	-16.5%	+3.3%	-0.8%

3. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、1,282万人であり、前年と比べると、55万人（-4.1%）減少した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	12,824	120	2,327	3,927	6,449
構 成 比	100.0%	0.9%	18.1%	30.6%	50.3%
対 前 年 増 減	-4.1%	+0.4%	-5.7%	-1.7%	-5.1%

4. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた観光消費額単価に観光入込客実人数を乗じて推計した平成30年の全県の観光消費額は、約1,282億円であり、前年と比べると、約66億円（-4.9%）減少した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果（直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和）は、1.24倍の約1,593億円と推計され、前年と比べると、約75億円（-4.5%）減少した。

注）経済波及効果は、平成23年島根県産業連関表を用いて推計。

○1人当たり消費額

区 分	観光消費額単価 (円)		観光消費額 (百万円)
		対前年増減	
県内客・宿泊	19,209	+2.1%	2,297
県外客・宿泊	29,420	+4.9%	68,473
県内客・日帰り	3,693	-3.0%	14,505
県外客・日帰り	6,661	-6.2%	42,957
計	—	—	128,233

5. 外国人宿泊客延べ数

平成 30 年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、90,465 人であり、前年と比べると、22.7 千人 (+33.5%) 増加した。

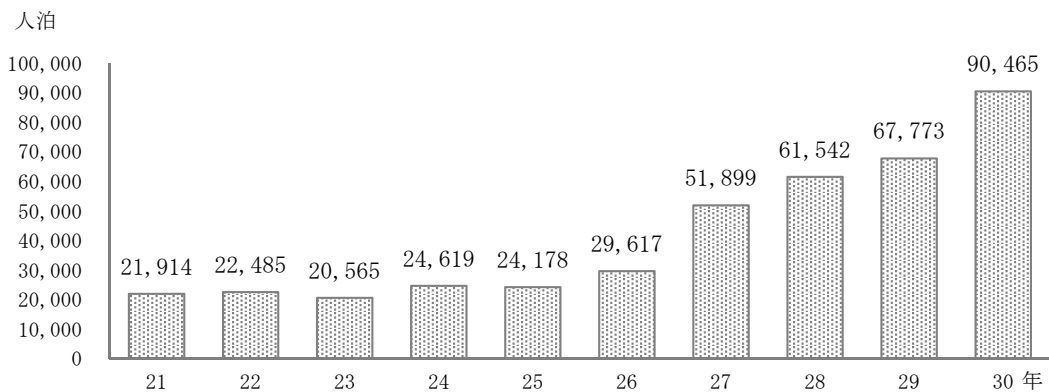
国・地域別では、台湾からが最も多く 18,985 人 (構成比 21.0%)、次いで韓国 13,187 人 (同 14.6%)、香港 11,824 人 (同 13.1%) となっている。

〈外国人宿泊客延べ数〉

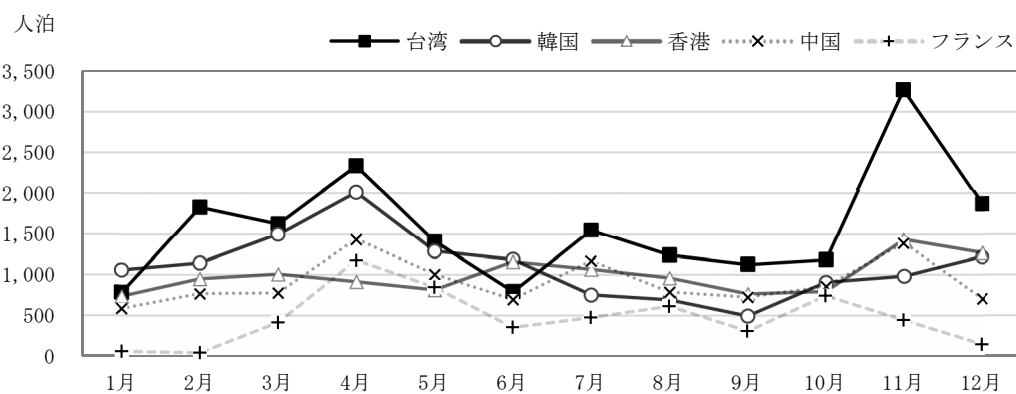
国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人 泊	構 成 比	
台 湾	18,985	21.0%	+24.8%
韓 国	13,187	14.6%	+107.0%
香 港	11,824	13.1%	-5.4%
中 国	10,862	12.0%	+31.2%
フランス	5,583	6.2%	+104.0%
アメリカ	5,467	6.0%	+6.0%
オーストラリア	1,726	1.9%	+60.0%
イギリス	1,712	1.9%	-21.8%
ド イ ツ	1,305	1.4%	+58.8%
タ イ	1,061	1.2%	+22.8%
イ ン ド	1,045	1.2%	+94.6%
シンガポール	947	1.0%	+80.4%

国・地域	宿泊客延べ数		対前年 増減
	人 泊	構 成 比	
カ ナ ダ	716	0.8%	+32.1%
ロ シ ア	682	0.8%	+264.7%
ベトナム	502	0.6%	+54.0%
マレーシア	323	0.4%	+36.3%
フィリピン	130	0.1%	-22.6%
インドネシア	100	0.1%	0.0%
その他ヨーロッパ	4,849	5.4%	+60.5%
中 南 米	1,064	1.2%	+298.5%
その他アジア	972	1.1%	+69.9%
アフリカ	511	0.6%	+421.4%
その他オセアニア	412	0.5%	+56.7%
そ の 他	6,500	7.2%	+13.6%
合 計	90,465	100.0%	+33.5%

〈外国人宿泊客延べ数の推移〉



〈月別外国人宿泊客延べ数 (上位 5 カ国)〉



6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位 10 箇所は以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲市	11,618,836	-3.0%
松江市	9,737,345	-2.4%
浜田市	1,510,321	-2.8%
安来市	1,490,315	-1.4%
雲南市	1,297,183	-6.6%
津和野町	1,134,738	-6.5%
大田市	1,113,452	-15.6%
益田市	919,892	-4.3%
奥出雲町	801,413	+0.0%
飯南町	424,251	+9.7%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込客延べ数 (人地点)	対前年 増減
出雲大社（出雲市）	5,911,000	-2.1%
日御碕（出雲市）	927,915	-7.3%
美保関（松江市）	760,451	+8.6%
島根ワイナリー（出雲市）	715,489	-1.2%
足立美術館（安来市）	632,109	-1.7%
玉造温泉（松江市）	592,890	-3.7%
太鼓谷稲成神社（津和野町）	554,814	-6.4%
三瓶山（大田市）	544,700	-9.4%
石見海浜公園（浜田市）	539,920	+3.8%
松江城山公園（松江市）	470,263	-9.7%

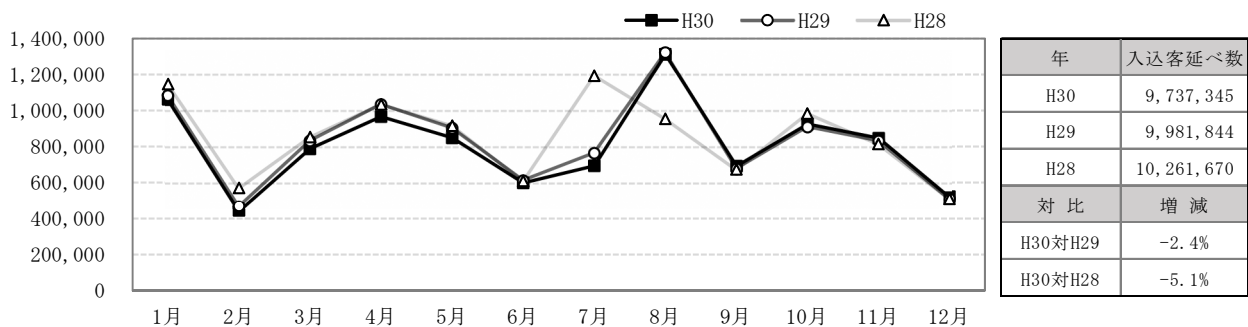
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、出雲地域が最も多く、11,619千人（-3.0%）、次いで松江地域 9,737千人（-2.4%）、雲南地域 2,523千人（-2.1%）、益田地域 2,266千人（-6.2%）、浜田地域 1,724千人（-4.2%）、大田地域 1,605千人（-13.1%）、安来地域 1,490千人（-1.4%）、隠岐地域 168千人（-9.5%）の順となった。

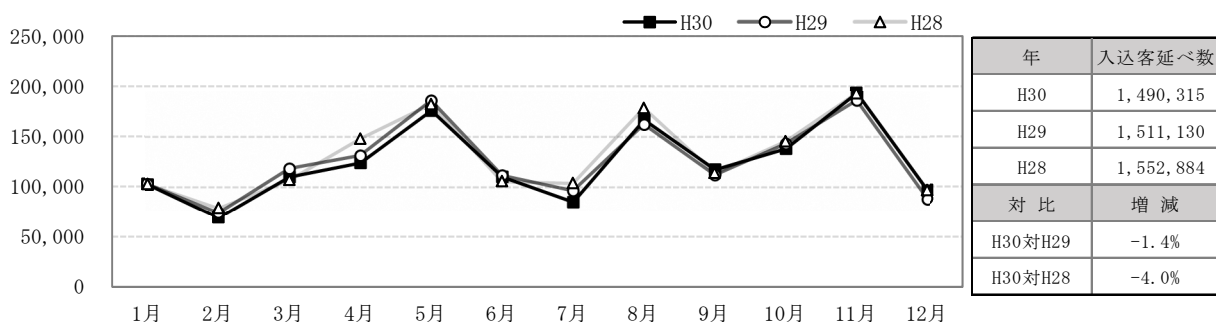
前年と比較して、全地域において観光入込客延べ数は減少した。

〈地域別月別観光入込客延べ数〉

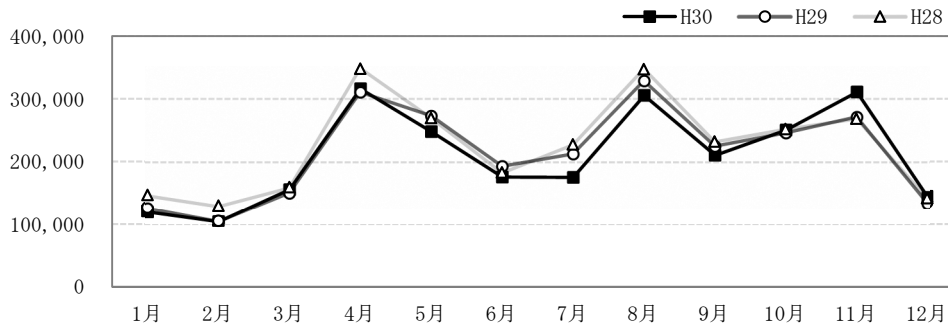
松江地域



安来地域

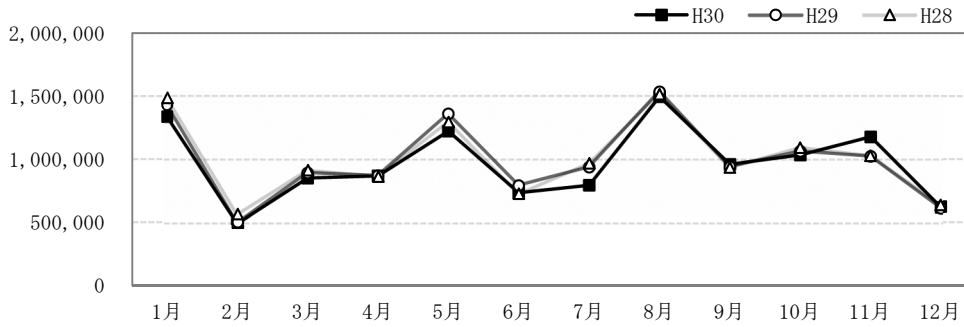


雲南地域



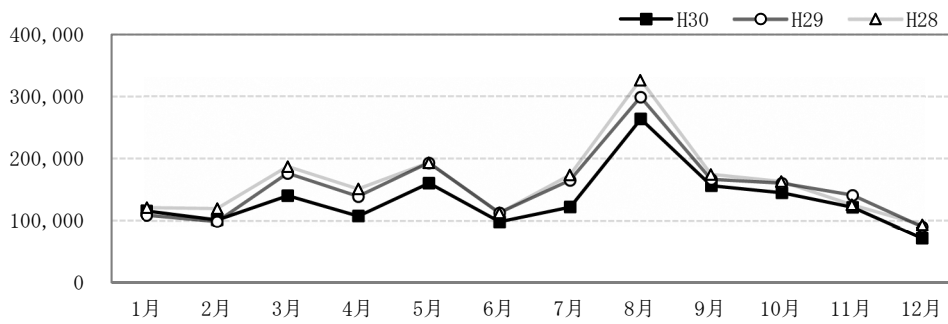
年	入込客延べ数
H30	2,522,847
H29	2,576,418
H28	2,701,175
対比	増減
H30対H29	-2.1%
H30対H28	-6.6%

出雲地域



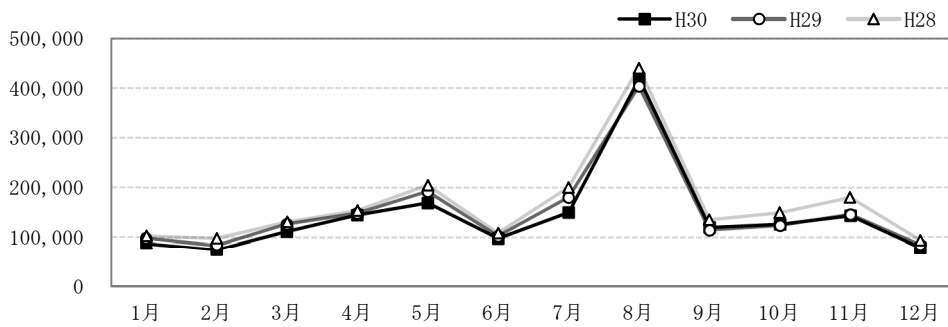
年	入込客延べ数
H30	11,618,836
H29	11,983,084
H28	12,020,623
対比	増減
H30対H29	-3.0%
H30対H28	-3.3%

大田地域



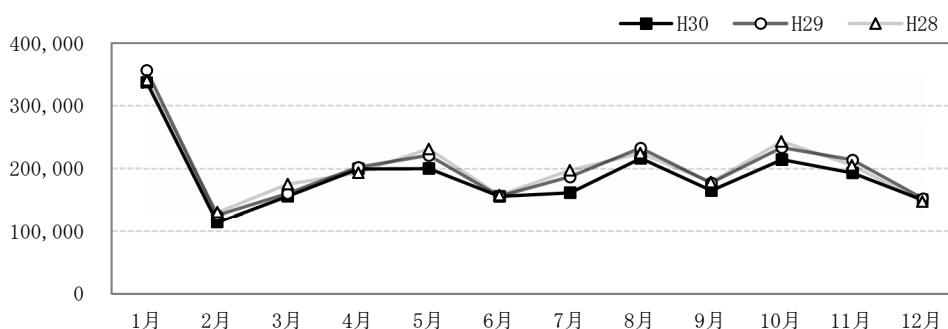
年	入込客延べ数
H30	1,605,169
H29	1,847,478
H28	1,937,608
対比	増減
H30対H29	-13.1%
H30対H28	-17.2%

浜田地域



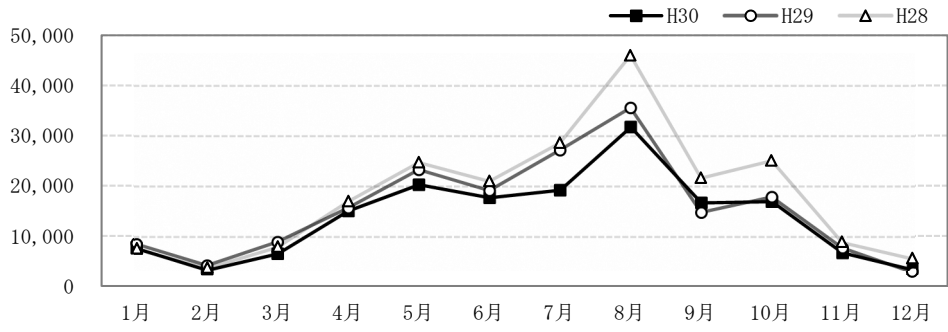
年	入込客延べ数
H30	1,724,468
H29	1,800,764
H28	1,992,620
対比	増減
H30対H29	-4.2%
H30対H28	-13.5%

益田地域



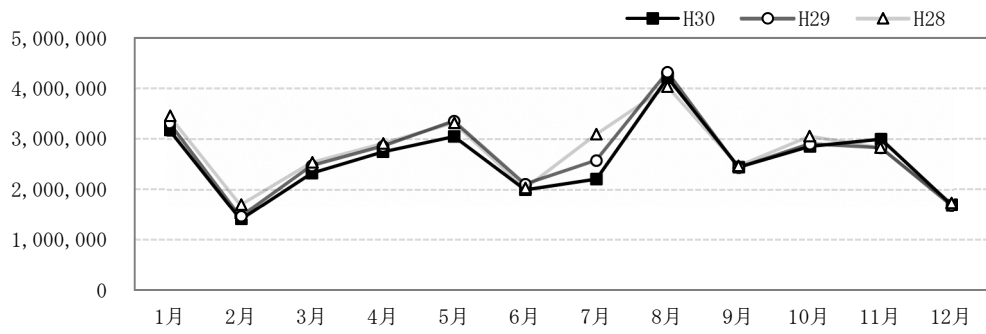
年	入込客延べ数
H30	2,266,011
H29	2,416,609
H28	2,434,707
対比	増減
H30対H29	-6.2%
H30対H28	-6.9%

隠岐地域



年	入込客延べ数
H30	168,296
H29	186,038
H28	217,260
対比	増減
H30対H29	-9.5%
H30対H28	-22.5%

全県

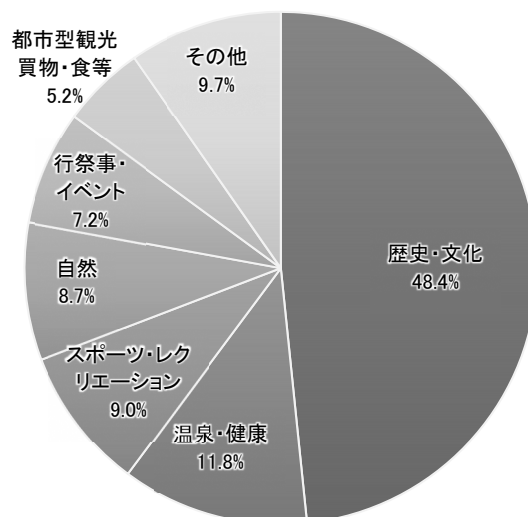


年	入込客延べ数
H30	31,133,287
H29	32,303,365
H28	33,118,547
対比	増減
H30対H29	-3.6%
H30対H28	-6.0%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）では「歴史・文化」が最も多く48.4%、次いで「温泉・健康」11.8%、「スポーツ・レクリエーション」9.0%、「自然」8.7%となっている。

〈行動目的別割合〉



行動目的 (中分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	15,058,428	-1.6%
温泉・健康	3,677,371	-7.0%
スポーツ・レクリエーション	2,805,261	-5.4%
自然	2,702,900	-5.4%
行祭事・イベント	2,244,289	-4.9%
都市型観光—買物・食等—	1,628,159	-7.3%
その他	3,016,879	-2.8%

〈行動目的別（小分類）観光入込客延べ数の上位5区分（その他除く）〉

行動目的 (中分類)	行動目的 (小分類)	入込客延べ数 (人地点)	対前年増減
歴史・文化	神社・仏閣	9,636,299	-2.2%
温泉・健康	温泉	3,677,371	-7.0%
歴史・文化	博物館	1,624,668	-3.9%
自然	海岸	1,443,807	-3.3%
歴史・文化	美術館	1,081,932	+7.0%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

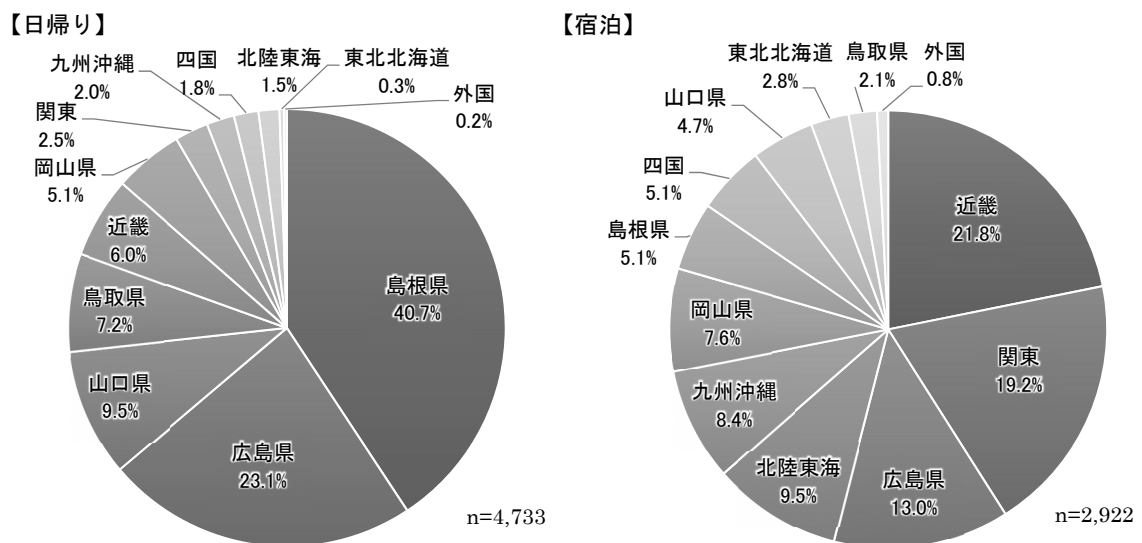
平成 30 年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

（1）発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入込客割合

日帰りでは、島根県が最も多く 40.7%、次いで広島県 23.1%であった。広島県は前年から 4.2 ポイント増加した。

宿泊では、近畿が最も多く 21.8%、次いで関東 19.2%であった。構成比は、前年から中国が 1.7 ポイント増加し、近畿では 1.7 ポイント減少した。

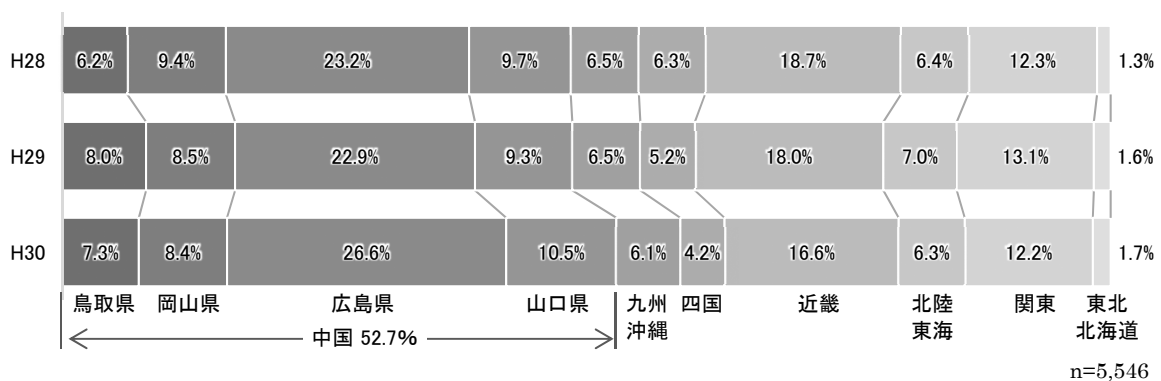


		東北	関東	北陸	近畿	中国						四国	九州	外国
		北海道		東海			鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県		沖縄	
日帰り	H29	0.4%	3.0%	1.5%	5.8%	83.6%	8.5%	41.9%	5.6%	18.8%	8.8%	2.5%	2.8%	0.5%
	H30	0.3%	2.5%	1.5%	6.0%	85.6%	7.2%	40.7%	5.1%	23.1%	9.5%	1.8%	2.0%	0.2%
	対前年増減	-0.1%	-0.5%	+0.1%	+0.2%	+2.0%	-1.3%	-1.1%	-0.5%	+4.2%	+0.6%	-0.7%	-0.7%	-0.3%
宿泊	H29	2.4%	18.8%	10.3%	23.5%	30.7%	1.9%	4.6%	7.0%	13.5%	3.8%	5.6%	7.5%	1.3%
	H30	2.8%	19.2%	9.5%	21.8%	32.4%	2.1%	5.1%	7.6%	13.0%	4.7%	5.1%	8.4%	0.8%
	対前年増減	+0.5%	+0.3%	-0.7%	-1.7%	+1.7%	+0.2%	+0.5%	+0.6%	-0.5%	+0.9%	-0.6%	+0.9%	-0.5%

イ. 発地別県外入込客割合

県外客の発地別入込客割合は、広島県からが最も多く 26.6%、次いで近畿 16.6%、関東 12.2%となっている。前年から広島県は 3.7 ポイント増加し、近畿は 1.4 ポイント、関東は 0.9 ポイント減少した。

〈発地別県外入込客割合の推移〉

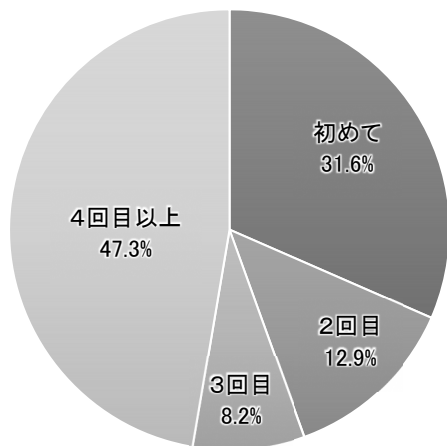


(2) 旅行回数

観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多い。島根県への訪問回数も同様の傾向であるが、「初めて」の割合は大きく下がる。

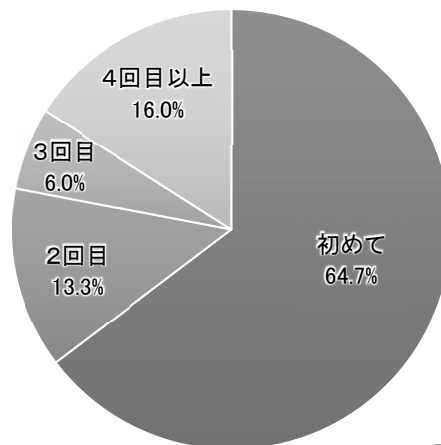
ア. 観光施設の訪問回数

【日帰り】



n=13,684

【宿泊】

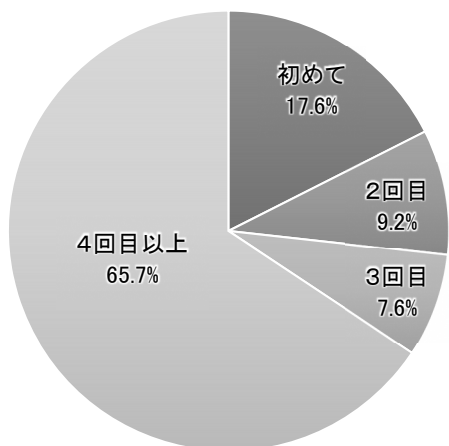


n=8,515

イ. 島根県の訪問回数

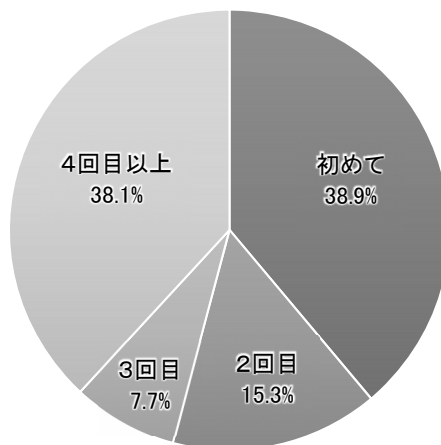
※この項目は県外客を対象に「島根県への訪問回数」を質問している。

【日帰り】



n=8,575

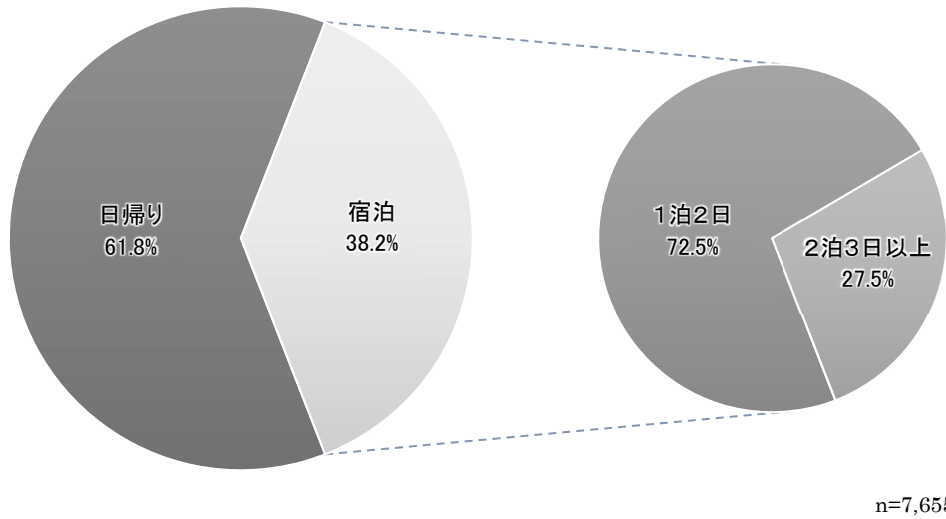
【宿泊】



n=7,936

(3) 旅行日程

「日帰り」が61.8%、「宿泊」が38.2%と、日帰り客の割合が高くなっている。
 「宿泊」のうち、72.5%が「1泊2日」となっている。



(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

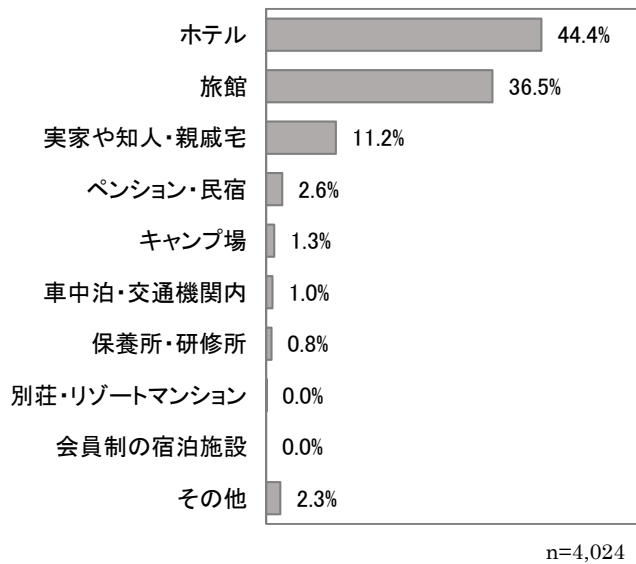
宿泊する市町村では「松江市」が51.1%、次いで「出雲市」が22.8%となっており、全体の約7割（73.9%）を占めている。

宿泊施設では「ホテル」が44.4%、次いで「旅館」が36.5%となっており、全体の約8割（80.9%）を占めている。

【市町村】

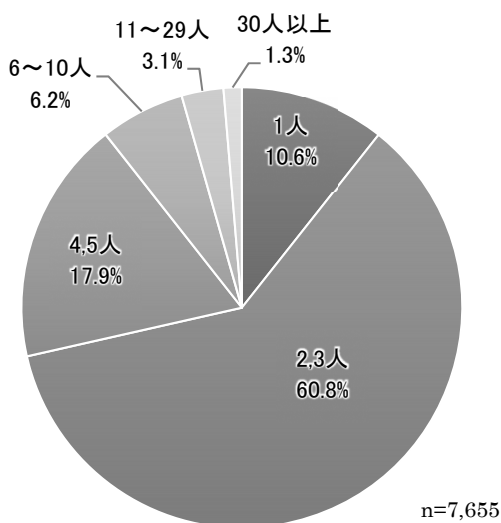


【宿泊施設】



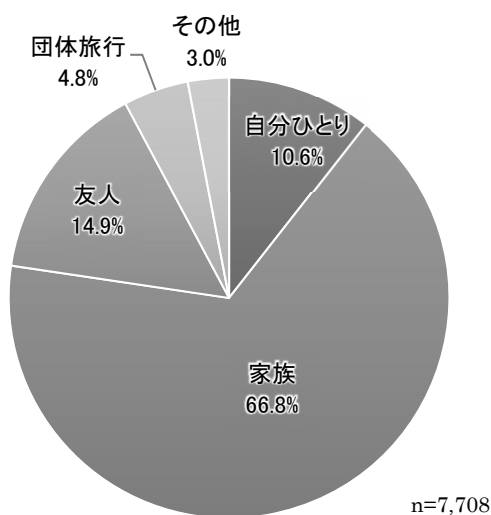
(5) 同行人数

「2、3人」が最も多く60.8%、次いで「4、5人」が17.9%となっている。



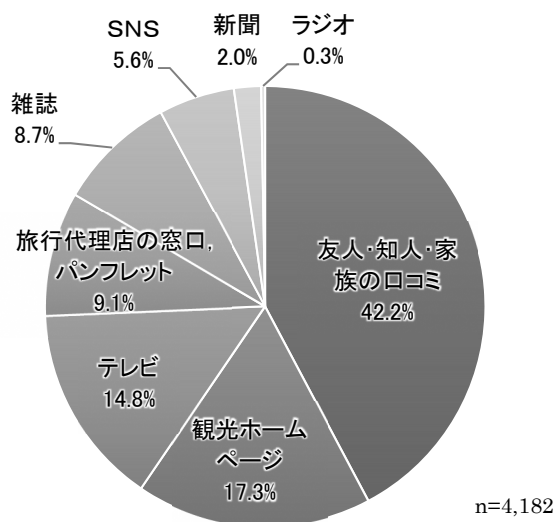
(6) メンバー構成

「家族」が最も多く66.8%、次いで「友人」が14.9%となっている。



(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、「友人・知人・家族の口コミ」が最も多く42.2%、次いで「観光ホームページ」が17.3%となっている。

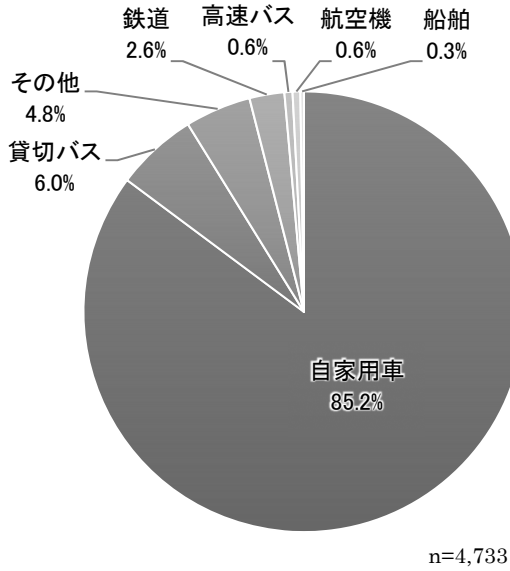


(8) 利用交通機関

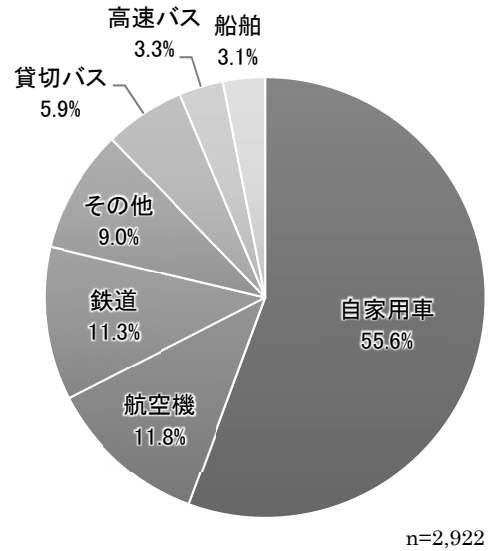
ア. 日帰り・宿泊別利用交通機関割合

日帰りでは、「自家用車」が最も多く 85.2%、次いで「貸切バス」が 6.0%となっている。
 宿泊では、「自家用車」が最も多く 55.6%、次いで「航空機」11.8%、「鉄道」11.3%となっている。

【日帰り】



【宿泊】

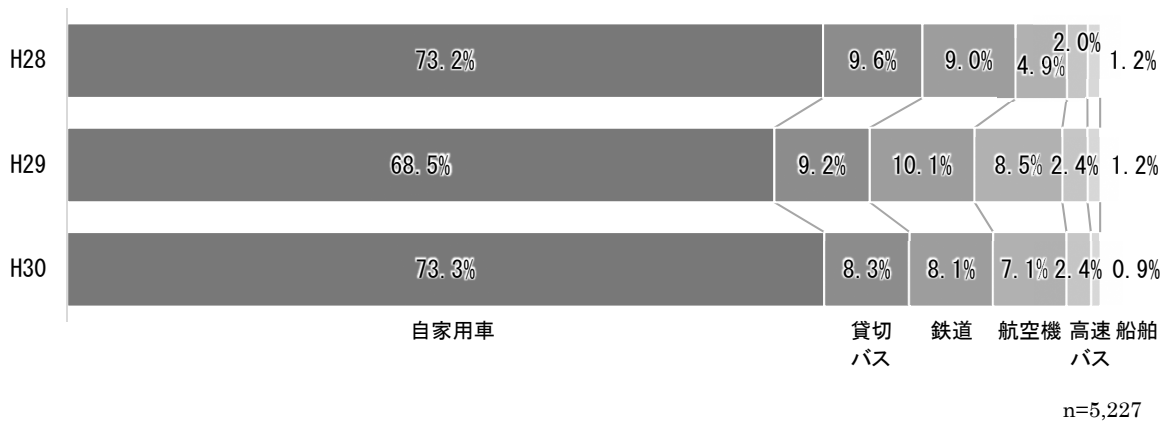


イ. 県外利用交通機関割合

県外客の利用交通機関をみると、「自家用車」が最も多く 73.3%、次いで「貸切バス」8.3%、「鉄道」8.1%となっている。

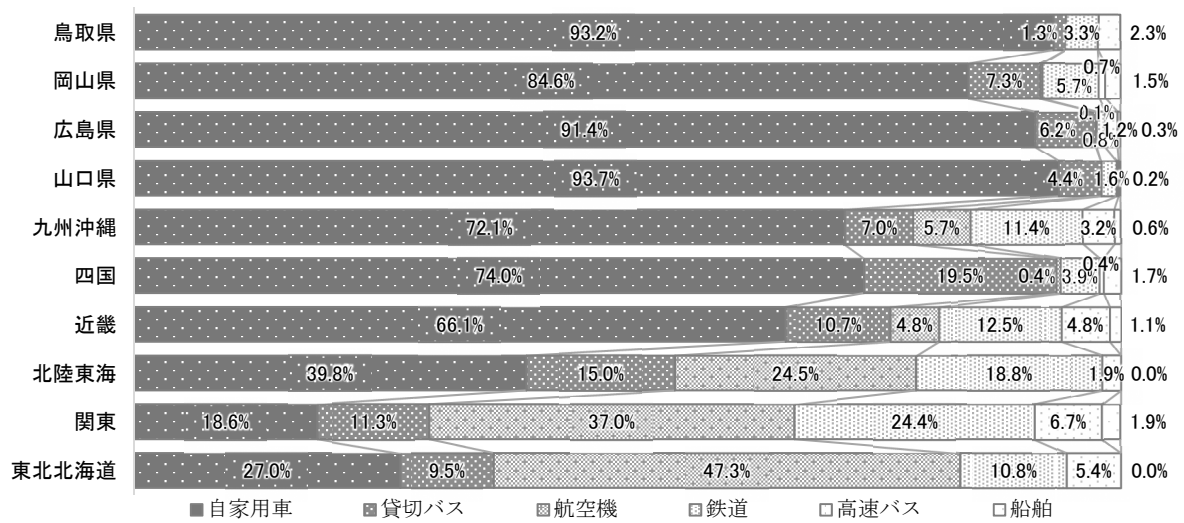
「自家用車」の割合は、前年から 4.8 ポイント増加した。

〈県外利用交通機関割合の推移〉



ウ. 県外地域別利用交通機関割合

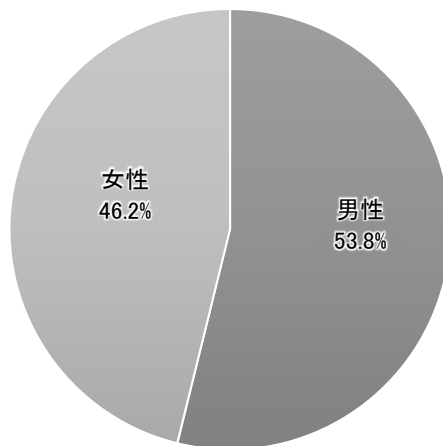
県外客について地域別に利用交通機関をみると、中国、九州沖縄、四国、近畿では「自家用車」が6割以上を占めている。「航空機」が最も高いのは東北北海道、「鉄道」が最も高いのは関東となった。



n=5,199

(9) 性別

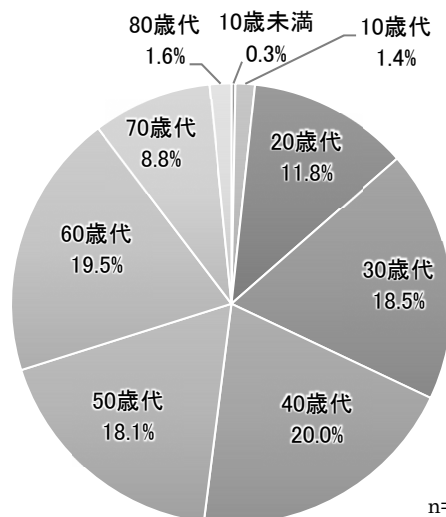
「男性」が53.8%、「女性」が46.2%とほぼ同等であった。



n=7,655

(10) 年齢

「30歳代」から「60歳代」がそれぞれ約2割ずつを占めている。

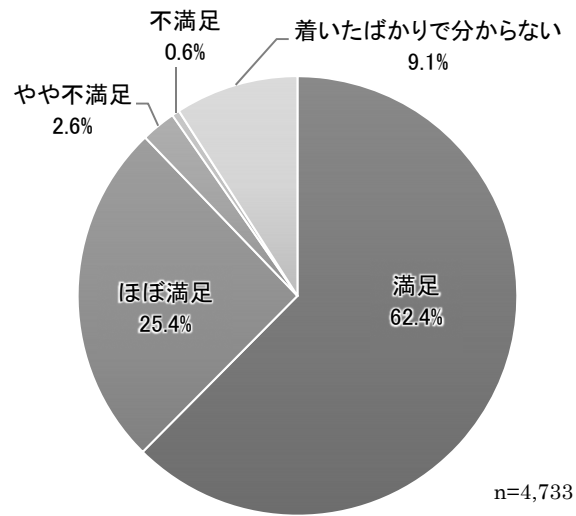


n=7,655

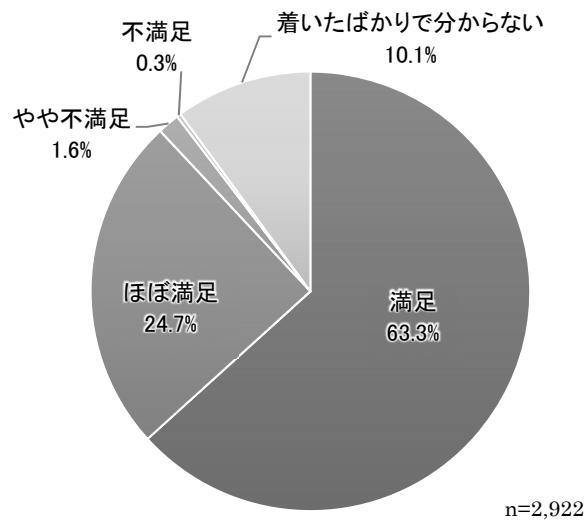
(11) 満足度

日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合せると約9割を占めた。

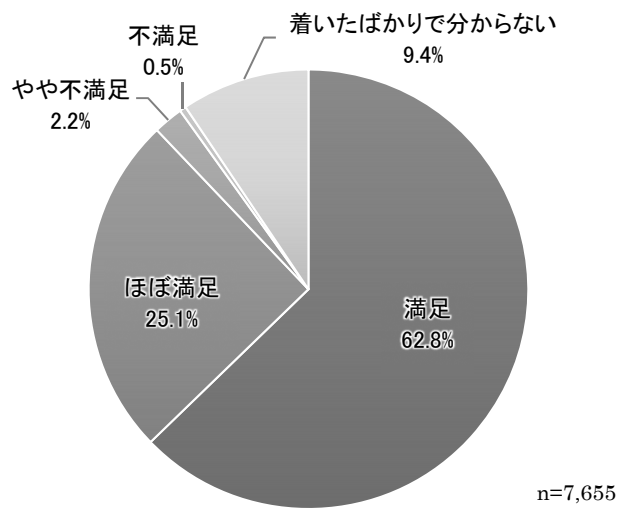
【日帰り】



【宿泊】



【全体】



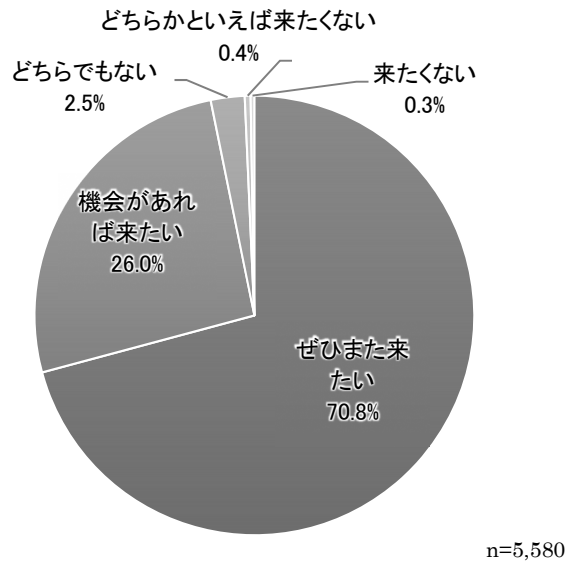
(12) 再訪意向

ア. 島根県及び観光施設への再訪意向

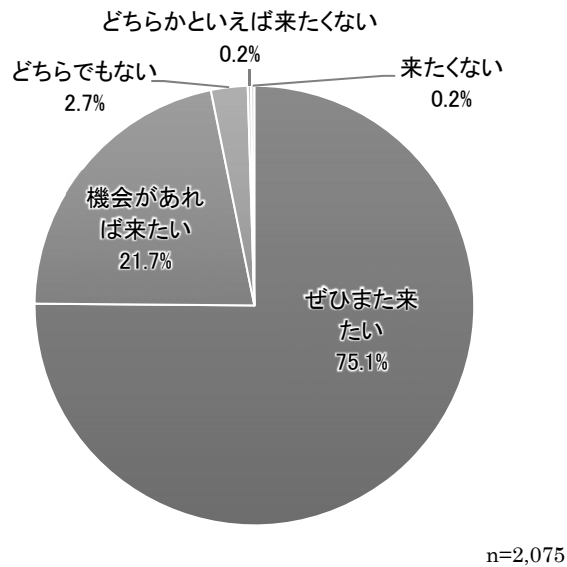
県外客の島根県への再訪意向は、「ぜひまた来たい」と「機会があれば来たい」を合すると 9割以上であった。県内客の観光施設への再訪意向についても同様の割合となっている。

※この項目は、県外客には「島根県への再訪意向」、県内客には「観光施設への再訪意向」を質問している。

【島根県への再訪意向（県外客）】



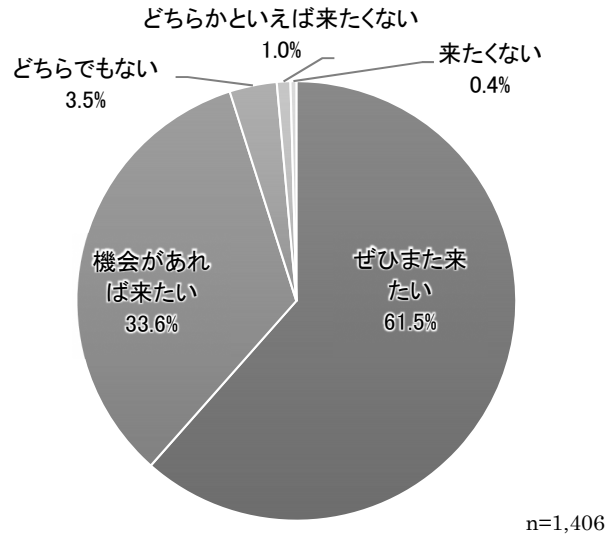
【観光施設への再訪意向（県内客）】



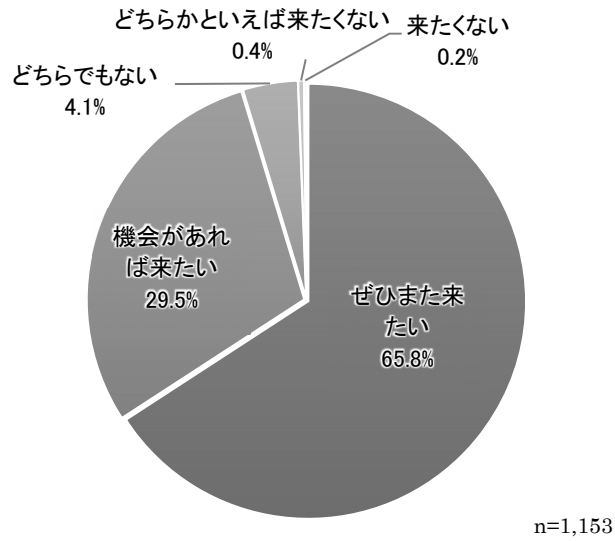
イ. 島根県への訪問回数別再訪意向

県外客の「島根県への再訪意向」について訪問回数別にみると、訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなっている。

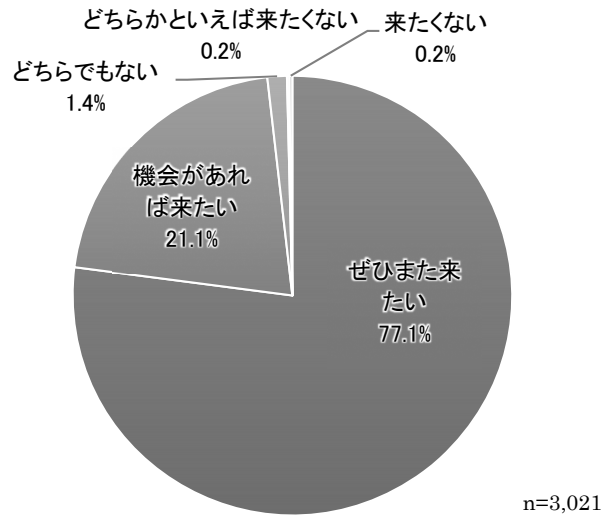
【訪問 1 回目】



【訪問 2～3 回目】



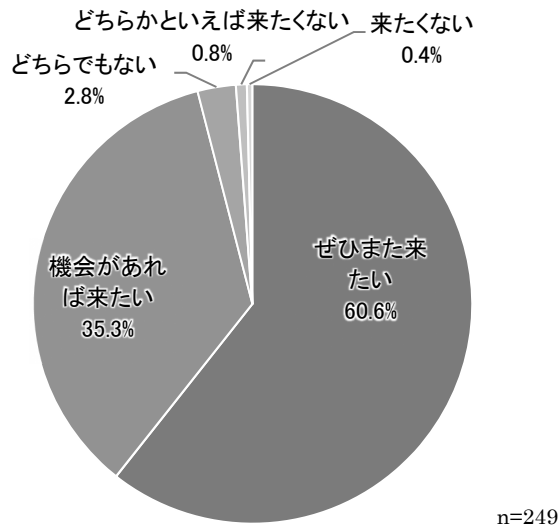
【訪問 4 回目以上】



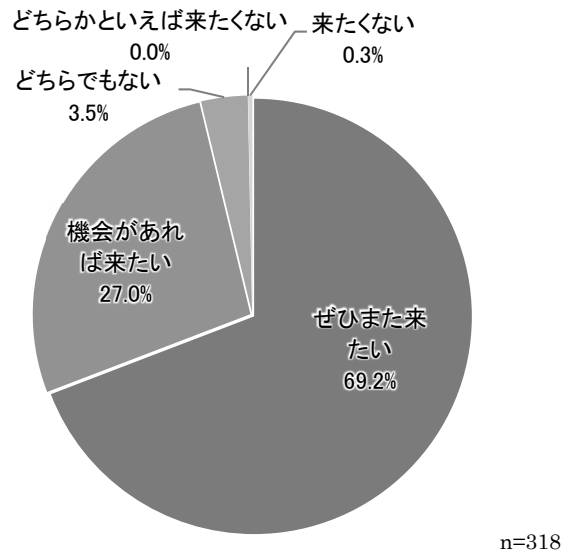
ウ. 観光施設への訪問回数別再訪意向

県内客の「観光施設への再訪意向」について訪問回数別にみると、訪問回数が多くなるほど、「ぜひまた来たい」の割合が高くなっている。

【訪問 1 回目】



【訪問 2~3 回目】



【訪問 4 回目以上】

